

授業評価 2015 (前期) T1E: 工学部都市環境システム学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.79(2015-09-11) by Yas

2015 年度前期 工学部都市環境システム学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1E003001	都市環境基礎演習 I	2 年前期木曜 3,4,5 限	柘植 喜治他	T1E 1
T1E003005	都市環境基礎演習 I	2 年前期土曜 2 限	丁 志映他	T1E 2
T1E020101	通信工学概論 I	3 年前期月曜 3 限	塩田 茂雄	T1E 3
T1E046102	ネットワーク基礎	2 年前期月曜 7 限	須貝 康雄	T1E 4
T1E047101	都市環境プロデュース	2 年前期木曜 6 限	柘植 喜治	T1E 5
T1E065101	景観計画	3 年前期水曜 4 限	宮脇 勝	T1E 6
T1E070101	環境工学 I	2 年前期月曜 6 限	(菊池 卓郎)	T1E 7
T1E073101	環境リサイクル化学	3 年前期木曜 6 限	廣瀬 裕二	T1E 8
T1E078001	構造力学演習 I	2 年前期金曜 7 限	関口 徹	T1E 9
T1E084101	国土・交通計画	3 年前期金曜 5 限	丸山 喜久	T1E 10
T1E091001	建築計画 II	3,4 年前期金曜 3 限	(大川 信行)	T1E 11
T1E092001	建築一般構造 II	3 年前期木曜 6 限	(塚越 英夫)	T1E 12
T1E096003	都市空間工学演習 I	3 年前期土曜 3,4 限	郭 東潤他	T1E 13
T1E097001	都市環境情報演習 I	3 年前期木曜 4,5 限	荒井 幸代他	T1E 14
T1E105001	環境プロセス工学	3 年前期水曜 4 限	劉 醇一	T1E 15

授業科目名	: 都市環境基礎演習 I
担当教員	: 柘植 喜治, 小倉 裕直, 廣瀬 裕二, 和嶋 隆昌, 村木 美貴, 関口 徹, LIU WEN, 星 裕一郎
年次・開講時限	: 2 年前期木曜 3,4,5 限
授業コード	: T1E003001
授業アンケート	: 回答者数 41 人 / 受講者数 55 人 (回収率 75%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q12. あなたはこの授業にどの程度出席しましたか? (回答 39 件)

都市環境の様々な事象の基礎をそれぞれの専門の先生が教え、次にそれらを総合して、具体的な都市環境を企画構想コンセプト立案し、最終的に自分たちの手で図面や模型を作成、それらを加工編集する非常に分量の多い内容であり、更に都市全体のパーツを一人一人が分担して組み上げるため一度の欠席が大きく影響することを認識して (平均 4.90) のような回答になったと考えられる。

都市環境の多様性を理解させるために国内外の事例を画像や動画で見せ、それを基に次にことでより深く理解することが出来、その結果 4.66 という評価を得たとかんがえられる。

Q17. TA (ティーチングアシスタント) がいた場合、この演習・実験・実習科目の理解に役立つように人数が確保されていましたか? (回答 37 件)

図面描画、透視図、模型製作ほか膨大な作業ノウハウは授業時間内で教えることは不可能であり、TA や先輩から教えることが多いが、学科では TA のデモンストレーションのみならず普段でも演習室を共有して高学年が低学年に教えることが恒常化しており、その結果 (平均 4.3) という評価を出した。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

都市環境システム学科が様々な学術専門分野を学びながら、実際の都市や環境が直面する様々な問題を解決する極めてプラクティカルな学科であることを認識出来る演習であることがこの演習の特徴であり、そのことが反映されたアンケート結果に現れている。

### 3. その他のコメントや連絡事項

1 年次の基礎的な科目から、2 年次になって初めての専門的な都市環境の演習として実際の都市空間を計画する。都市環境に関する多様な基礎とそれらを統合する空間を巨大模型として組み上げていくプロセスを学ぶなかで都市の多様性を修得する。限られた時間内で多くの成果が要求される厳しい演習であるがその成果も大きく、その後の専門的な分野に進む目安となる。

作成 (者): 柘植喜治

授業科目名	: 都市環境基礎演習 I
担当教員	: 丁 志映, 関口 徹, LIU WEN, 廣瀬 裕二
年次・開講時限	: 2 年前期土曜 2 限
授業コード	: T1E003005
授業アンケート	: 回答者数 7 人 / 受講者数 10 人 (回収率 70%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 7 件)

平日の同名演習が 2 時限/日与えられているのに対し、土曜の本演習は 1 時限のみのため説明に十分な時間がかけられない面は否定できません。社会人学生もいるので、レポートのフィードバックにより不足分を補うようにしたが、今後より一層の充実を図りたいです。

Q29. この授業で良かった点について記入してください。 (回答 4 件)

「学生と教員との距離が近く、分からないことを気軽に尋ねられることができた」、「社会人学生間の交流を持てたこと」等の記述がありましたが、小人数の授業ならではの特徴と言えます。今後これらの「対話型演習」をさらに発展させていきたいと思えます。

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。 (回答 3 件)

課題の意図をさらに明確にするとともに、印刷物の配布後、学生に資料の状態について再確認するようにします。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

都市環境の様々な分野の先生が、専門の基礎を教える演習です。学生の中には、他演習や会社の都合で、演習に何度か欠席し、未完成のまま課題を提出される人がいました。しかし、多くの学生からは、各分野を理解し、授業時間内で作業をこなそうとする姿勢を感じました。

### 3. その他のコメントや連絡事項

次年度の演習のガイダンス時に、学生との話の場を設けて、今年度の課題を含めてお互いに話し合って改善していきたいと思えます。

作成(者): 丁志映、廣瀬裕二

授業科目名	: 通信工学概論 I
担当教員	: 塩田 茂雄
年次・開講時限	: 3 年前期月曜 3 限
授業コード	: T1E020101
授業アンケート	: 回答者数 28 人 / 受講者数 54 人 (回収率 52%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 28 件)

進度が遅いというコメントがあった。もう少し内容を増やすことを検討する。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

3. その他のコメントや連絡事項

今年度まではスライドの電子ファイルを配布したが、次年度はスライドに加えて、教科書の利用を検討したい。

作成(者): 塩田 茂雄

授業科目名	: ネットワーク基礎
担当教員	: 須貝 康雄
年次・開講時限	: 2 年前期月曜 7 限
授業コード	: T1E046102
授業アンケート	: 回答者数 17 人 / 受講者数 21 人 (回収率 81%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 17 件)

全体平均 4.44 に対して 4.93 の評価を得ている。黒板にはなるべく大きく見やすい文字を書くことを意識した結果、ほぼ全員から「見やすかった」との評価になったと考えられる。ただし、「改善すべき点」に数式の添字が見にくかったとの意見があり、今後はさらに注意して板書したい。

Q9. 例題, 例え話やサンプル等がわかりやすかったですか? (回答 17 件)

全体平均 4.26 に対して 4.93 の評価を得ている。学生に理解してもらうために、例題や演習問題をなるべく多く取り入れる授業を行っているが、その結果が全体平均より高い評価を得ていると考えられる。理解を助けるための新しい例題を取り入れる方針を続ける予定である。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 16 件)

全体平均 3.88 に対して 4.21 の評価を得ている。上記の Q5 や Q9、上記には挙げていない Q3、Q10、Q11 を総合した結果がこの設問の評価に現れていると考えられる。また、授業方針として、説明すべき項目を広く浅くではなく、いくつかの項目を重点的にやや深くすることにより、学生が理解を深められたと考えられる。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

講義に関する設問 Q1 ~ Q16 のうち、全講義の集計結果と比較できる設問 Q2, Q3, Q5, Q7, Q9, Q10 ~ Q16 について、Q12(あなたはこの授業にどの程度出席しましたか?) 以外のすべてが全体平均よりも高い評価を得ている。授業目標の達成度に関しては、限られた講義時間でほぼ当初の予定通りの内容を説明できた。また、受講生の学習到達度に関して、最後に実施した期末試験では受験者 32 名の平均点は 75.3 点であり、この講義で学ぶべき内容をほぼ理解できていると考えられる。

### 3. その他のコメントや連絡事項

アンケートの回収率は 81% でした。多くのアンケートに回答しなければならない学生の皆さんは大変でしょうが、他の科目も含め、なるべくの授業評価アンケートに回答するよう、お願いします。

作成(者): 須貝康雄

授業科目名	: 都市環境プロデュース
担当教員	: 柘植 喜治
年次・開講時限	: 2 年前期木曜 6 限
授業コード	: T1E047101
授業アンケート	: 回答者数 41 人 / 受講者数 58 人 (回収率 71%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 37 件)

プレゼンテーションスキルの向上を目指して TED(スーパープレゼンテーション) を教材としてスライドや PPT 等の見やすい画面の作り方を実践したことが, 高い評価 (平均 4.70) につながったとかがえられる。

Q9. 例題, 例え話やサンプル等がわかりやすかったですか? (回答 38 件)

都市環境を実際にプロデュースした国内外の事例をつかって具体的な説明を目指した。また関連して講義の途中で出てくる項目に関してもリアルタイムで画像や動画を収集して解説したことが (平均 4.24) という評価を得たと考えられる。

Q17. TA (ティーチングアシスタント) がいた場合, この演習・実験・実習科目の理解に役立つように人数が確保されていましたか? (回答 33 件)

先生が講義するだけでなく, 都市環境の学生達が行っている都市環境プロデュースに関する具体的なプロジェクトを TA ほか学生達がプレゼンテーションする授業を行うことでより身近に具体的な作業として感じ取ることができ 4.52 という評価を得たと考えられる。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

一年次の基礎的な科目から, 二年時になって初めて体験する都市環境のプロデュースや都市空間の計画を解りやすく見せるために, 国内外の実際の事例をつかって解説することで理解度を深めることができた。また受け身の講義だけでなく自らが考え発表することを目的として, TED(スーパープレゼンテーション) を題材とする全員参加の発表は大きな自信を与えた。

### 3. その他のコメントや連絡事項

都市環境プロデュースに関するアップデートな情報, 国内外の事例を多用する授業をお目指して, 画像検索や動画を多用する講義をおこなった。そのために必要な高速のネット環境や複数のプロジェクター等が快適に使える環境を目指して改善する。

作成 (者): 柘植喜治

授業科目名	: 景観計画
担当教員	: 宮脇 勝
年次・開講時限	: 3 年前期水曜 4 限
授業コード	: T1E065101
授業アンケート	: 回答者数 14 人 / 受講者数 34 人 (回収率 41%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 14 件)

毎回、たくさんの質問を有り難うございました。レポートの中から、重要なものについてのみの解説でしたが、参考にして下さい。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 14 件)

千葉大における景観計画の最後の授業となりましたが、授業の内容を活かして、今後の学問や生活に役立てて頂ければ幸いです。

Q16. 全体を通して、この授業に満足しましたか? (回答 14 件)

最終回の試験における授業の感想コメント欄においても、たくさんの方から、私が名古屋大学へ異動するにあたり、満足度の高い授業であったとの評価や、励ましの言葉を頂きました。誠に有り難うございました。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

最終試験の結果は、全体的にとっても良好でした。試験に出た専門用語の理解を、今後に活かして頂ければと思います。

### 3. その他のコメントや連絡事項

千葉大でこの授業を担当して 16 年ほどになりますが、授業評価アンケート結果を用いて、たえず改善して新しい内容を盛り込んできました。本授業を受講して頂いた皆様、有り難うございました。

作成(者): 宮脇 勝

授業科目名	: 環境工学 I
担当教員	: 菊池 卓郎
年次・開講時限	: 2 年前期月曜 6 限
授業コード	: T1E070101
授業アンケート	: 回答者数 39 人 / 受講者数 60 人 (回収率 65%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q6. Q5 の評価が「はい」でない場合、その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 7 件)

見やすいスライドを心がけますが、もうちょっと前に座るとスライドが見やすいですし、こちらも学生の皆さんの表情が読み取れて話し易いです。いきなり当てたりしないですから。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

環境工学 I で扱う内容はとても多く、半期でそれを習得するのは大変なことだと思います。受講するみなさんは事前に参考書の該当する章に目を通しておくとう学習が効率的です。少しい予習が理解できないまま過ごす 90 分の苦痛から解放してくれます。

3. その他のコメントや連絡事項

環境工学は自分を取り巻く「環境」を扱う学問です。理解できると世界の捉え方が変わる面白い学問です。疑問があれば遠慮せずどんどん質問してください。授業が終わってからでも良いです。学生の皆さんからのフィードバックでより良い授業にしていけることができます。

作成(者): 菊池卓郎

授業科目名	: 環境リサイクル化学
担当教員	: 廣瀬 裕二
年次・開講時限	: 3 年前期木曜 6 限
授業コード	: T1E073101
授業アンケート	: 回答者数 13 人 / 受講者数 18 人 (回収率 72%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q4. Q3 の評価が「はい」でない場合, その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 2 件)

・声の大きさについては昨年度もわずかながら指摘があったため数回受講生への確認実施に加え、体調不良時にはマイクを使用した。来年度はマイク使用を試行し、受講生の反応により対応を検討したい。

・重要な点は繰り返し、ノートに書けたかどうかを慎重に確認するなど話す速さは配慮していたが、指摘があったことから来年度は大事でないところも配慮をしたい。

Q6. Q5 の評価が「はい」でない場合, その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 3 件)

スクリーンの位置については教室の設備の兼ね合いがあるものの、板書はスライドの内容の補足が主で、(照明は点灯したが)スライドの横で示すことが多かったため逆の方向に座っている人には見づらかったことがあったと考えている。その際は該当の人たちに確認はしていたが、来年度は一度スクリーンを上げるか、人数によっては黒板に向かって左手のスクリーンを使用することを検討する。

Q8. Q7 の評価が「はい」でない場合, その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 4 件)

温熱環境について配慮していなかったことは反省したいが、ISO の兼ね合いもあり冷房温度を下げなかった。「環境リサイクル化学」なのでガンガン冷房を効かせることは控えたいが、来年度はうちわの使用を推奨する予定である。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

編入生にとっては千葉大で最初のセメスターであり、特に社会人学生もいることから基礎から実際のリサイクルの内容が説明できることを目指している。自由記述でもその点を記載していただけたことは喜びに堪えない。試験の出来(受講者平均)も当方の予想を超えていた。

### 3. その他のコメントや連絡事項

今年度初めて 15 回すべてを担当したが、受講生の協力もあって無事終了することが出来た。学科全体の授業内容の見直し等により、来年度授業内容の(一部)変更、授業名と内容の不一致が発生するかもしれないが、極力受講生が混乱しないよう配慮するのでご容赦願いたい。

作成(者): 廣瀬 裕二

授業科目名	: 構造力学演習 I
担当教員	: 関口 徹
年次・開講時限	: 2 年前期金曜 7 限
授業コード	: T1E078001
授業アンケート	: 回答者数 43 人 / 受講者数 64 人 (回収率 67%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 40 件)

平均 4.8

板書はなるべく大きく色も効果的に使用するよう努めていたので良かった。今年度は前に座る学生が多かったのも良かった。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 40 件)

平均 3.2

質問していない学生が多く, 演習なので質問しやすい環境づくりに努めたい。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 40 件)

平均 4.0

講義についていけなかったとしても演習でフォローできるようにしたい。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

Q16 の授業の満足度としては平均 4.4 で, 講義の理解を深めるための演習としてはそれなりに満足しているようで良かった。

### 3. その他のコメントや連絡事項

本演習の前にある講義の授業は客員教授の先生にお願いしており, 昼夜 2 回実施せず 6 限のみとなっています。そのため本演習は 7 限に開講しています。一般の学生には遅い時間ですがご理解をお願いします。

作成(者): 関口 徹

授業科目名	: 国土・交通計画
担当教員	: 丸山 喜久
年次・開講時限	: 3 年前期金曜 5 限
授業コード	: T1E084101
授業アンケート	: 回答者数 38 人 / 受講者数 76 人 (回収率 50%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか? (回答 37 件)

大きな声を出した成果であると思います.

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 36 件)

昨年度から改善した効果と思います.

Q29. この授業で良かった点について記入してください。 (回答 9 件)

概ね好意的な評価であり, よかったです.

2. 授業アンケート全体に対するコメント

3. その他のコメントや連絡事項

作成 (者): 丸山喜久

授業科目名	: 建築計画 II
担当教員	: 大川 信行
年次・開講時限	: 3,4 年前期金曜 3 限
授業コード	: T1E091001
授業アンケート	: 回答者数 10 人 / 受講者数 32 人 (回収率 31%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 9 件)

この授業では、皆さんに何らか考えてその先に進んでもらうよう、そのきっかけとなりそうな素材を大量に提示しています。ぜひ授業外にも多くの書物に触れたり、実物に触れて欲しいと思います。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 9 件)

毎回出席代わりに簡単な文章を書いてもらっていてそれを振り返る時間を設けています。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

出来るだけネットで得られる情報ではなく、実物や文献に浸って欲しいと思います。その積み重ねは、皆さんの今後の成長に大きな差となって表れてきます。

3. その他のコメントや連絡事項

昨年よりも実務的内容を増やしたつもりですが、次年度はさらにその内容の密度を上げたいと考えています。

作成(者): 大川信行

授業科目名	: 建築一般構造 II
担当教員	: 塚越 英夫
年次・開講時限	: 3 年前期木曜 6 限
授業コード	: T1E092001
授業アンケート	: 回答者数 29 人 / 受講者数 66 人 (回収率 44%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 28 件)

17 号棟 213 号室のプロジェクターの光量が弱いのでスライドを優先した授業において蛍光灯を消したため板書が見にくくなっていた。2 号棟では光量が強いので蛍光灯は消さずにスライドを使えるのだが。

使用教室を変えてもらうか、プロジェクターを変えてもらうか、蛍光灯のスイッチを教壇に付けてもらうか、していただくと解決する。

できるだけ、気にはかけておきたい。

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか? (回答 29 件)

マイクを使わずに授業をしていたので、マイクをなるべく使うようにしたい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 塚越

授業科目名	: 都市空間工学演習 I
担当教員	: 郭 東潤, 大川 信行
年次・開講時限	: 3 年前期土曜 3,4 限
授業コード	: T1E096003
授業アンケート	: 回答者数 12 人 / 受講者数 24 人 (回収率 50%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 11 件)

「はい」の回答者は 72.7%、「ややそういえる」の回答者は 18.2%であり、約 90%の学生が自分の意見を積極的に示す高い結果となった。これはグループの共同作業や個人提案発表による深度あるディスカッションなどが授業に積極的に係わることになったと判断できる。

Q16. 全体を通して、この授業に満足しましたか? (回答 10 件)

「はい」の回答者は 72.7%、「ややそういえる」の回答者は 18.2%であり、約 9 割以上が満足した高く評価された。これは Q14 の結果に加え、Q12.「あなたはこの授業にどの程度出席しましたか?」に対し、全員が「前回」または「4/5 程度」と回答しており、また、Q13.「あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか?」は 8 割以上が「2 時間以上」と回答された。授業に取り組む高い出席率と時間によって学習効果の向上とともに満足に繋がったと判断できる。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

この評価結果は、一定の成果をあげたことを示していることから、当面、現在の授業の進み方を継続していきたい。一方で、今後も社会人も含め、受講生に対する柔軟な対応ができる学習方法を考えたい。

### 3. その他のコメントや連絡事項

この授業には、大きく 2 つの工夫を授業に取り入れた。一つ目は、4~5 人のグループ提案と個人提案の両立である。異なる経験や考え方をを持ったメンバー達が共通の問題意識を組み立て、グループとして解決案を構想し、さらに個人的提案にグループ構想を反映することで、総合性かつコミュニケーション力の培養を期待した。二つ目は、現場中心の授業特徴を活かし、地域住民との意見交換を授業に取り入れた。学生の創意的提案に対し、生活側面からの現実的なコメントを得ることにより、地域社会や住み手の問題を理解させることであった。意見交換 2 回(地元住民や関係者による現状説明、地元住民への提案発表)、グループ発表と個人提案発表を通して、より都市環境の問題を読み解くことが把握できると考えた。

作成(者): 郭 東潤

授業科目名	: 都市環境情報演習 I
担当教員	: 荒井 幸代, 丸山 喜久, 吉村 博幸, 檜垣 泰彦, 須貝 康雄, 小倉 裕直, 和嶋 隆昌, 劉 醇一, 廣瀬 裕二, 荒井 邦晴
年次・開講時限	: 3 年前期木曜 4,5 限
授業コード	: T1E097001
授業アンケート	: 回答者数 21 人 / 受講者数 37 人 (回収率 57%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q29. この授業で良かった点について記入してください。(回答 4 件)

毎回課題を出す意図を理解し, 実践してくれた皆さんに感謝.

本演習の目的は大きく 3 つ. 1 つは, 工学的スキルとして最重要である統計解析法の理解と利用, 2 つ目は, 土木, エネルギー化学, 数理計画法の連関を体験し, 多角的視点を養うこと, そして 3 つ目は, レポート(報告)の作法を習得することにあります.

「プレゼンやレポートは, 自分の理解度を可視化すること。」ということ肝に銘じて今後も頑張ってください.

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。(回答 1 件)

一領域も入って議論できれば面白そうというのは, 確かにそうですね.

演習時間が重複しないようにカリキュラムを組み替えることも考えています.

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

最初のレポートはひどいものでしたが, 回を重ねるごとに指数関数状に, よいレポートになっていきました. 上述した通り, 理解したことを示すためのレポートを書こうとする姿勢が感じられました.

今後も頑張ってください.

### 3. その他のコメントや連絡事項

雑感ですが, 統計解析, 毎週のレポート, よくこなしたなーと思います. 内容はともかく ... て人もいらっしゃいましたが, まずは期日にきちんと出せることは大事なスキルです. 次は内容ですね.

作成(者): 荒井幸代

授業科目名	: 環境プロセス工学 (旧名称「都市エネルギー論」)
担当教員	: 劉 醇一
年次・開講時限	: 3 年前期水曜 4 限
授業コード	: T1E105001
授業アンケート	: 回答者数 21 人 / 受講者数 33 人 (回収率 64%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 21 件)  
 予習の時間を十分にとれなかったのは、講義資料の配布 (公開) が講義当日であったためと考えられ、担当教員の責任です。来年以後は早めに講義資料を公開できるように準備したいと思います。  
 多くの学生の予習復習時間が毎回 2 時間以下だったようですが、期末試験を「手書きメモ用紙持込可」にしたため、試験勉強にはそれなりの時間を割いたものと思います。手書きメモが充実していた人は試験結果も良く、この方法が復習に役立ったと思います。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 21 件)  
 化学に関する科目が少ない学科でありながら、「3 : どちらともいえない」以下の受講生がいなかったことは、学生と担当教員の双方の努力の結果と考えます。  
 来年以後は、化学をあまり学習していない学生に対する参考書の紹介等を早めに行い、講義内容をより深く理解できるようにしていきたいと思います。

Q16. 全体を通して、この授業に満足しましたか? (回答 21 件)  
 回答数 21 のうち、「5 : はい」が 16 人、「4 : ややそうである」が 5 人であり、アンケート上はほとんど不満が無かったと思いますが、講義全体を通して何らかの不满がある学生は、そもそもアンケートに答えていないのでは...? という疑問もあり、アンケート回収率の向上を含め、より多くの学生が満足できるような講義を展開していきたいと思います。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

ほとんどの項目のスコアが 4.5 以上であったが、来年以後は今年以上に良いスコアが得られるように、講義の準備を進めたいと思います。

上にも書きましたが、アンケート回収率 (今回は 64%) が講義全体への評価の一つだと思いますので、来年以後はアンケートに答えようと思う学生の割合が増えるように、準備を進めたいと思います。

### 3. その他のコメントや連絡事項

新任教員の講義ということで、学生と教員の双方にとって不安がある中で、多くの学生が毎回出席し、理解度・満足度で一定の評価を得られて良かったと思います。

学科のカリキュラムで化学系の科目が少ない中で、エネルギーや環境に関する分野に進むためには、最低でも大学受験レベルの化学の知識を使いこなせるようにした上で、講義に出席することが必要だと思います。

卒業研究～大学院と進む上で、化学に関する知識が少なく不安を感じる人は、簡単なところから構わないので、コツコツと化学に関する学習を進めてください。

エネルギー問題や環境問題に限らず、様々な社会問題を解決をする上で、問題の原因は何か? 問題を解決するには何が必要か? どうやって問題を解決するか? ということ論理的に説明できるように、基礎となる科目を広く学び、日頃から頭を使って考えることが大事だと思います。

【2016 年度受講予定者へ】

講義内容は、大学で化学に関する科目をほとんど履修していない人に合わせる予定ですが、講義内容をより深く掘り下げるために、最低でも大学受験レベルの化学の問題を解けるように、復習しておいて下さい。

作成(者): 劉 醇一